

さらなる節水のお願いについて

令和8年4月28日(火)

説明資料

(1) 渇水状況について

▼渇水状況

○今後の天候予測について

- ・近畿地方太平洋側の向こう3カ月の降水量は、ほぼ平年並の見込み
- ・近畿地方太平洋側の向こう1カ月の降水量は、ほぼ平年並の見込み

○企業団水源ダム(紀の川水系)の貯水状況(4月27日9:00現在)

- ・大滝ダム 貯水率 15.9%
- ・大迫ダム 貯水率 69.8%
- ・津風呂ダム 貯水率 54.8%

[参考：淀川水系]室生ダム 貯水率 73.2%

▼大滝ダム等の貯水率低下に伴う紀の川の渇水調整について

○取水制限の実施内容

日 時：令和8年3月31日(火)13:00より取水制限中。

取水制限：奈良県域の水利使用を15%制限する。(変更なし)

(2) 水運用について

▼ 紀の川水系ダムからの15%取水制限に対し、以下の取組により配水量の確保を図っている。

①自己水源からの取水量の増量

- ・ 生駒事務所等において、井戸等の自己水源からの取水量を増量

②地域間での水融通（追加対応）

- ・ 4/22(水)に室生ダムからの取水量を増量
通常時は御所浄水場から送水している上牧町第1受水地に対し、桜井浄水場からの送水に全量切替えを実施

③用水供給における送水量の削減協力（追加対応）

- ・ 奈良市への送水量について、本来は承認水量に対し7%減であるところを、15%減での送水とするよう協力を得た

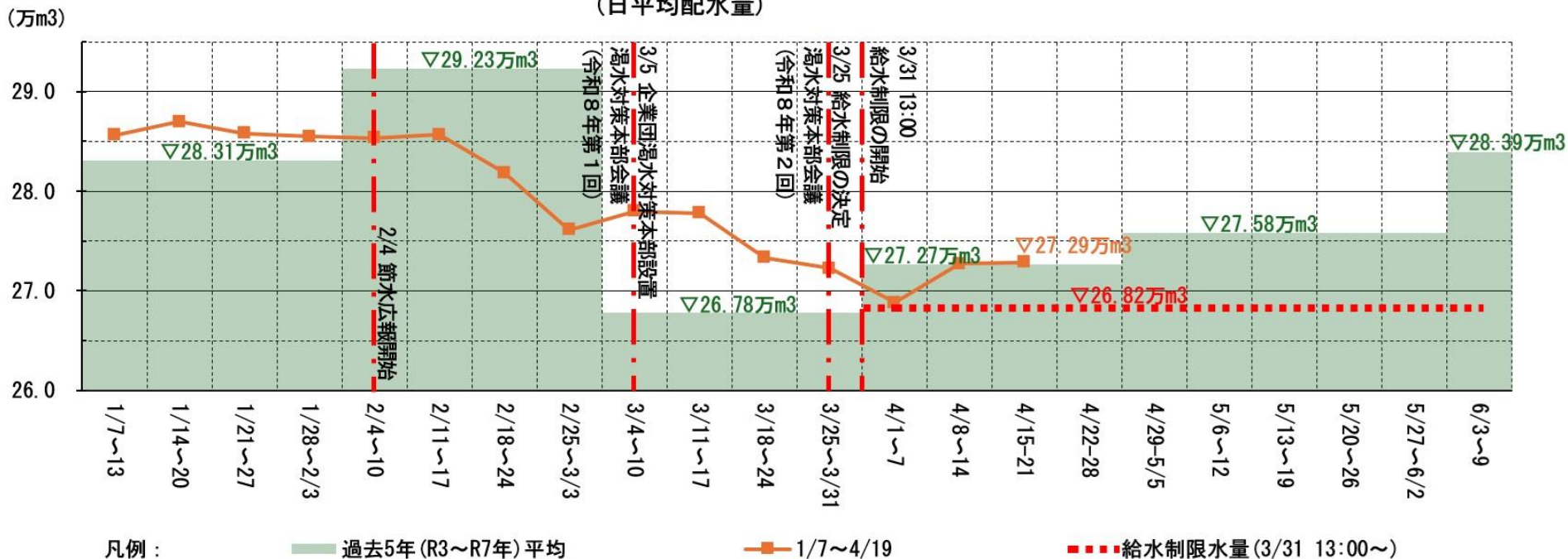


(3) 最近の水の使用量について

○ 水の使用量は4月8日の週から増加に転じており、例年並の使用量となっている。

このまま、例年並の使用量が続けば、配水池などの貯留分が減少し、6月初旬頃には貯留している水が不足するため、水が出にくくなることや、断水の発生懸念を想定している。

奈良県広域水道企業団構成26市町村 令和8年の配水量推移 [4月21日(火)時点]
(日平均配水量)



※ 4月22日(水)知事定例記者会見資料より、最新のデータに基づき時点修正

(4) 県民の皆様へのメッセージ

- 全体の使用水量に対し一般家庭層の利用が7割程度を占めると言われています。各ご家庭において、改めて節水の徹底をお願いします。

※以下、奈良県広域水道企業団渇水対策本部会議(令和8年第2回：令和8年3月25日(水))の資料から再掲

✓ 一般家庭の皆様へ

日常生活に支障のない範囲で、これまで以上の節水にご協力をお願いいたします。水道の元栓を閉め水の勢いを弱める「自主減圧」や、夜間の水利用の自粛などもご検討ください。

✓ 事業者の皆様へ

事業活動に必要な水の使用は確保しつつ、オフィスや共用部などにおける節水を徹底してください。

✓ 学校、図書館、役所などの公共施設、大規模営業施設の皆様へ

利用者への周知も含め、積極的な節水対策の実施をお願いいたします。

✓ 病院、消防など水道利用が必要な皆様へ

引き続き必要な水の使用は確保していただいで結構です。個別のご相談がある場合は各市町村の企業団事務所へお問い合わせください。

- 今後も降雨状況によっては、給水制限の強化が必要となる可能性があります。また、農業用水の確保が本格化する時期を迎えるため、水需給はさらに厳しくなる見込みです。
- 引き続き、状況の変化に応じて最新の情報をお知らせいたします。内容をご確認いただき、ご理解とご協力をお願いいたします。